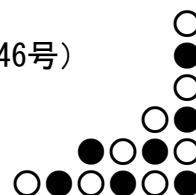


げんけん マンスリーレポート No. 2017-3 (第46号)

発信元：東京都市大学 原子力研究所
<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>
発信日：2017/3/3



こんにちは。原子力研究所です。

今回は、2/22に開催した特別シンポジウム「放射性物質を追う 火山性湖沼赤城大沼周辺調査報告」@二子玉川・夢キャンパスについてご紹介します。
2011年の震災直後、長年放射能測定を実施してきた当研究所の技術や設備を活用し、福島復興のために貢献できないかと岡田・准教授が国や関係機関に働きかけを行いました。その結果、武蔵工大炉が停止後長らく使用されず、埃を被っていた装置を復旧させ、放射性セシウムの動態研究等に活用できる状態に立て直すことができました。そうした活動を知った赤城大沼周辺の研究に携わっている方々からお声がかかり、共同で研究を開始することになりました。
本シンポジウムでは、震災から6年が経とうとしている今なお、低レベルの放射能測定を行い、環境中の放射性物質の動態挙動を解明し、地元の漁協等へ協力している地道な活動を紹介し、現場の最前線を多くの方にご理解いただくこと企画しました。50名を超える方にご参加いただき、活発なご議論をいただくことができました。

【シンポジウム案内】 <http://yumecampus.tcu.ac.jp/event/1955>

★トピックス

- ・2017/3/3(金) いわきものづくり塾「廃炉コース」の一環として、いわきの企業の方々を対象とした原研の見学会を開催予定です。
http://www.iwaki-sangakukan.com/project_manager/2016/07/mono.html
- ・2017/7/29(土) 第4回王禅寺オープン・ラボを開催予定です。
【過去の実績】<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/00L.html>
- ・研究所報(通巻42号)を発刊しました。
<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/syoho.html>

★利用実績(2月)

- ・放射線業務従事等登録数；業務従事者：44名、指定従事者：55名
- ・一時立入者数(のべ人数)：47名

★主なスケジュール

2月(実績)

4日(土) 静岡県島田市
「簡単おいしいクッキング&食品と放射線セミナー」講演
6日(月) 大学院共同原子力専攻・修論発表会@世田谷キャンパス
9日(木) 福井「女性のための放射線セミナー」講演
16日(木) 原子力安全工学科・卒論発表会@世田谷キャンパス
22日(水) 特別シンポジウム
「放射性物質を追う 火山性湖沼赤城大沼周辺調査報告」
@二子玉川・夢キャンパス
23日(木) 原子力規制庁 保安検査
27日(月) 所内・管理室会議
品証マネジメントレビュー会議

3月(予定)

3日(金) いわきものづくり塾「廃炉コース」 都市大原研見学会
6日(月) 弥生研究会@東大(東海村)
17日(金) 原子力研究所 運営委員会@SC
22日(水) 原子力規制庁 巡視
30日(木) 所内・管理室会議

-*

◆外部との共同研究/委託研究

<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/renkei.html>

◆原研のスタッフ紹介

<http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/kanrishitsu3.html>

◆マンスリーレポートのバックナンバー

http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/back_no_MR.html

【げんけんのひとびと】

2016年11月号から5回にわたり、原研を本務もしくは兼務とする教員および技術職員の紹介を行います。5回目は、三橋・所長です。

1979年3月に名古屋大学大学院・原子力工学専攻を修了し、民間企業にて小型の原子炉である臨界実験装置も使い、燃料サイクルフロントエンドからバックエンドにおける原子燃料や廃棄物の核的特性に関する研究開発を行ってきました。2011年4月に原子炉、放射性同位元素及び核燃料物質の施設を持つ原研に着任し、所長、原子炉施設管理室長並びに品質保証責任者とし、法令で定められたそれぞれの管理業務を行っています。原子力安全工学科及び共同原子力専攻の授業、卒論や修論の指導や研究も行っており、主な研究テーマは福島事故で環境に放出された放射能とその場の線量率との相関並びそれらの変化に関する測定と解析による研究、原子炉燃料の炉心外における臨界安全性の研究などです。原子炉は廃止措置措置中ではありますが、中性子放射化分析法を技術基盤とし、近年、加速器の開発や化学・材料科学の研究設備環境の充実など、法令に則った原子力施設の運営・管理業務を行いながら、これら原研の利用や教育・研究を進めて行きたいと考えます。今後とも原研をよろしく願います。

【原研のスタッフ紹介】 <http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/kanrishitsu3.html>

◇間合せ先

本配信内容についてのお問合せは、以下にお願いいたします。

原子力研究所 羽倉 nhagura[at]tcu.ac.jp

~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~ ★ ~ ☆ ~

東京都市大学 原子力研究所 <http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺971番地

TEL 044-966-6131

FAX 044-955-6071

★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~★~☆~